

B-2 基本的な学習過程

学習過程	内容と主な手立て
<p>課題をつかむ</p> <p>複式授業における 【直接指導時】</p>	<p>◎ 学習問題の題意をつかみ、本時の学習課題を強く意識づける段階 <手立て></p> <p>①既習問題との共通点や相違点を明確にする 「似ているところは、どこなの？」 「今までの問題と違うところは、どこなのかな？」</p> <p>②今までは、どのように考えてきたのか（既得の考え方）を想起させる 「今までの考え方を使えないかな？」 「今までの考え方だと、何がこまるのかな？」</p>
<p>考えをもつ</p> <p>複式授業における 【間接指導時】</p>	<p>◎ 問題解決に向け、自分なりの考えをつくる段階 <手立て></p> <p>①絵や図をかいたり（フリーハンド）、表やグラフにしたりしながら解決の見通しを持たせていく</p> <p>②算数的活動を通して、わかったことや発見したこと、考えたことをノートに書かせていく</p> <p>③解決に向かうなかで出てきたつぶやきをノートや板書に残していく 『あれっ うまくいかない』『どうすればいいのだろう』『あっ わかった』</p> <p>④隣同士や近くの人でノートを見合ったり、各自の考えや悩んでいることを相談したりしながら、問題の解決に必要な考え方を見つけさせていく</p>
<p>考えを広める</p> <p>複式授業における 【直接指導時】</p>	<p>◎ 友達の考え方を聞き、自分の考えと比較検討しながらよりよい考え方を学習者全員でつくりあげていく段階 <手立て></p> <p>①各自の考え方がわかるように、小型ホワイトボードを利用する（全学年）</p> <p>②自分の考えを説明するとき、友達の反応を確かめながらさせていく（高学年）</p> <p>③友達の説明を聞きながら、わかることを絵や図にかかせていく</p> <p>④友達の説明に使った図を見ながら、自分なりの言葉で説明させていく</p> <p>⑤自分のなかで納得した考え方を、自分なりの言葉で説明させていく</p> <p>⑥どの考え方が一番簡単なのか、一番効率的なのか、いつでも使えるのかを考えさせていく</p>
<p>ふりかえりを する</p> <p>複式授業における 【間接指導時】</p>	<p>◎ 本時の学習で、どのような考え方を使って解決に向かったのかを簡潔に整理する段階 <手立て></p> <p>①大きく分けると、いくつの考え方がでたのかを明確にさせる</p> <p>②どの考え方を使うと解決したのかを明確にさせる</p> <p>③だれの考え方が問題解決に役立ったのかをノートに書かせる</p> <p>④本時の課題に対して、わかったことや発見したことを自分なりの言葉でまとめさせる</p>